

2021年度教育研究活動報告用紙(様式9)

| | | | | | |
|----|------|----|----|----|---------------------|
| 氏名 | 伊藤直子 | 職名 | 教授 | 学位 | 学士(社会学)(佛教大学 1996年) |
|----|------|----|----|----|---------------------|

| | |
|--------------|--------------------|
| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
| 公衆衛生看護学 地域看護 | 公衆衛生看護 介護保険 地域包括ケア |

| |
|---|
| 研究課題 |
| <p>行政における看護職である保健師の機能と役割について考察する。また、それらの機能を学ぶための学士課程実習での教育方法を検討する。</p> <p>地域包括ケアシステムにおける看護職の機能について検討する。</p> |

| |
|--|
| 担当授業科目 |
| <p>公衆衛生看護学概論(後期) 必修 8/14</p> <p>公衆衛生看護管理演習(後期) 選択 14/14</p> <p>公衆衛生看護学実習(通年) 選択</p> <p>保健医療福祉行政と政策(前期) 選択 7/7</p> <p>保健福祉学入門(前期) 必須 1/7</p> <p>地域母子保健(前期)(助産別科) 8/14</p> |

| |
|---|
| 授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項) |
| <p>授業科目名【 公衆衛生看護学概論 】</p> <p>「公衆衛生看護学概論」は、1年生の前期必修科目である。学生の受講動機は、例年変わらず「必修科目である」ことが、99.6%を占め、ほとんどの学生の動機となっている。</p> <p>例年、この事を踏まえ、第1回の授業では、シラバスによる説明で、本科目を学ぶ意義について重点をおいた説明を行い、毎時の授業では、講義開始の冒頭で本時の学習目的を学生の理解しやすい言葉で説明した。初年次の学生の講義であることを踏まえ、毎時のコメントカードで得られた学習内容への質問・意見等は次の講義冒頭に還元し、学習内容の理解に努めた。学生と教員の双方向コミュニケーションを心掛け、全員に対し、毎回コメントについて、返信し、授業成果を個別に共有することに努めた。</p> |
| <p>授業科目名【 保健医療福祉行政と政策 】</p> <p>「保健医療福祉行政と政策」は、3年生前期に配置された選択科目である。保健師課程の学生には必修科目となっている。受講動機には「資格取得に必要である」が81.8%、「関心のある内容である」が31.8%となっている。受講生には保健師課程選択のための資格取得が主目的となっているが、科目内容に関心を持っている学生もいることが考えられる。</p> <p>科目内容は、既習した保健医療福祉の知識を基盤に、行政の施策及び政策の策定まで学習する内容となっている。現存する日本における制度について具体的事例を通して、思考する構成としているため、課題及び個々の学生とのやり取りにより主体的学習を促した。</p> <p>結果、授業評価において、「口頭、文書など、何らかの形で学生の質問を受け付け、それに答える機会が作られていた」100%、「説明は理解しやすいものであった」95.5%、「授業中に自分の意見をまとめる、話し合う、発表するなど、学生が参加する機会が作られていた」95.5%であり、意図した主体的学習を促すための教育方法については、一定の成果を上げた評価できる。</p> |

授業科目名【 公衆衛生看護学実習 】

「公衆衛生看護学実習」は、コロナ禍の中、実習指導教員と実習施設指導者のコミュニケーションを十分に得ながら、学生の実習環境の整備に苦勞した実習となった。直接、住民と触れ合う場面に限界がある実習ではあったが、実習施設指導者の熱意に学生達の成果は、コロナ禍とはいえ、様々な形で得ることができた。

また、学生の学習意欲及び効果が得られるよう教員間の情報交換を密に行いながら、教育支援を行ったことにより、学生の教育支援が効果的に運営された。実習環境は行政の対応により異なるが、学習成果の達成状況に大きく差は見られず、全員の学生が到達レベルに達することができた。

授業科目名【 保健福祉学入門 】

「保健福祉学入門」は、1年生前期に配置された必修科目である。保健福祉学部への導入科目となっている。看護学科、福祉学科及び栄養学科における学びをスタートするにあたり、保健・医療・福祉の専門性を理解するために本学教員の学問領域にふれ、多職種協働の意義を理解し、社会の期待に応えるための課題の認識を深めていくものである。

オムニバス形式の講義となるため、講義開始前の導入について、担当講師との打合せおよび調整を行った。各々の学科の学生は、他学科の教員の講義を聴くことで、自身の学ぶ学問領域の関心を深め、他職種と協働していくことの重要性を考えていくこと目的としている。

学 会 に お け る 活 動

| 所属学会等の名称 | 役職名等 (任期) | 加入時期 |
|-------------|---|-----------------|
| 日本看護協会会員 | 訪問看護委員会副委員長 (1996年4月～1997年3月) 訪問看護委員会委員長 (1997年4月～1998年3月) 介護支援専門員支援委員会委員長 (1997年4月～2004年3月) 認定看護管理者研修委員会委員 (2001年4月～2006年3月) 介護保険関連委員会委員長 (2004年4月～2006年3月) 第46回日本看護学会—看護管理—学術集会抄録選考委員 (2014年3月～2014年9月) 消費税対応検討委員会委員長 (2015年11月～2016年7月) | 1977年4月～現在に至る |
| 日本公衆衛生学会 | | 1979年4月～現在に至る |
| 日本地域看護学会 | | 1999年4月～現在に至る |
| 日本在宅ケア学会 | | 2000年9月～現在に至る |
| 日本保健医療社会学会 | | 2002年4月～2014年3月 |
| 日本病院管理学会 | | 2002年9月～現在に至る |
| 日本高齢者虐待防止学会 | | 2003年8月～現在に至る |
| 日本看護教育学会 | | 2003年2月～現在に至る |
| 日本健康教育学会 | | 2005年6月～現在に至る |
| 日本看護研究学会 | | 2008年4月～現在に至る |
| 日本看護科学学会 | | 2008年4月～現在に至る |
| 日本臨床救急医学会 | | 2011年8月～2016年3月 |

| 2021年度 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--------------------|---------|-----------|---------------------|----|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (著書) | | | | |
| | | | | |
| (その他) | | | | |
| | | | | |

| 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む） | | | |
|---------------------------------|------|--------------------|-----------------|
| (1) 共同研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 研究者 ○代表者（）内は学外者 | 交付決定額 (単位：円) |
| | | | |

| 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む） | | | |
|---------------------------------|------|-----------------|----|
| (2) 個人研究 | | | |
| 研究題目 | 交付団体 | 交付決定額 (単位：円) | 備考 |
| | | | |

| 社会における活動等 | | |
|-------------------------------------|------------|-----------------|
| 団体・委員会等の名称 (内容) | 役職名等 | 任期 期間等 |
| 福岡県介護保険審査会 | 専門調査員 | 2007年7月～現在に至る |
| 北九州市社会福祉法人等審査会 | 委員 | 2012年4月～2020年3月 |
| 大分県地方独立行政法人評価委員会 | 委員 | 2012年6月～現在に至る |
| 日本私立看護系大学協会 | 理事（業務執行理事） | 2013年7月～2018年7月 |
| 粕屋町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定協議会 | 委員 | 2005年4月～現在に至る |
| 粕屋町地域包括支援センター・地域密着型介護サービス運営協議会 | 委員 | 2007年4月～現在に至る |
| 北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議調整会議 | 構成員 | 2012年4月～現在に至る |
| 北九州市高齢者支援と介護の質の向上介護予防・高齢者活躍推進に関する会議 | 代表 | 2013年4月～現在に至る |
| 北九州市健康づくり推進プランの推進 | 構成員 | 2014年2月～2021年3月 |

| | | |
|---|-----|---------------------|
| にかかると意見交換会 北九州市認知症施策推進会議（北九州市 オレンジ会議） | 構成員 | 2013年4月～現在に至る |
| 全国保健師教育機関協議会 | 社員 | 2015年4月～現在に至る |
| 福岡県総合計画審議会 | 委員 | 2016年7月～現在に至る |
| 行橋市地域保健計画策定委員会 | 委員 | 2017年12月～2018年2月24日 |
| 行橋市地域保健計画推進委員会 | 委員 | 2018年2月25日～現在に至る |
| 北九州市健康づくり活動表彰選考委員 会 | 審査員 | 2018年10月1日～現在に至る |
| 福岡県公衆衛生看護実習連絡協議会 | 当番校 | 2021年4月～2022年3月 |

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

| | |
|-------------------------|-----------------|
| 学校法人西南女学院 評議員 | 2005年4月～現在に至る |
| 学校法人西南女学院 理事 | 2021年4月～現在に至る |
| ・学院将来計画委員会 | |
| 西南女学院大学 保健福祉学部長 | 2021年4月～現在に至る |
| ・倫理審査委員会 委員長 | |
| ・動物実験委員会 委員長 | |
| ・入学試験会議 構成員 | |
| 西南女学院大学 教務部長 | 2013年4月～2022年3月 |
| ・教務委員会 委員長 | |
| ・教務人間科学小委員会 委員 | |
| ・教職課程委員会 委員 | |
| ・非常勤講師候補者選考会議 構成員 | |
| ・教員免許状更新講習会 委員 | |
| ・大学点検評価改善会議 構成員 | |
| ・大学点検評価改善会議 FD部門 部門長 | |
| ・教育の質保証プロジェクト会議 代表 | |
| ・教学マネジメント検討会 構成員 | |
| ・3部門会議（教務部・学生部・入試部） 構成員 | |
| ・教学IR推進室 構成員 | |
| ・地域連携室運営会議 構成員 | |
| ・COVID-19対策会議 構成員 | |
| ・学生総合支援室運営連絡協議会 構成員 | |
| ・将来計画検討プロジェクト会議 構成員 | |